

# 発汗サーマルマネキンを利用した衣服の性能評価

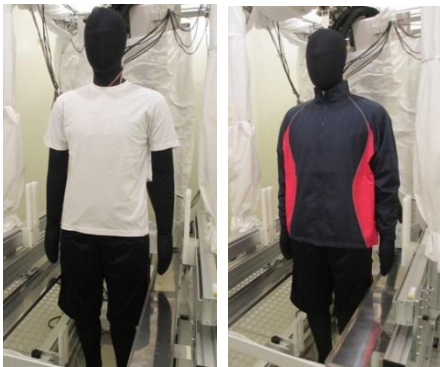
## 利用事例：同一衣服における発汗サーマルマネキン実験と被験者実験について

被験者と発汗サーマルマネキンに、同一のインナー2種類(A, B)、アウター1種類を着用させ、発汗状態での衣服内温湿度等の計測を行い、インナーの機能性能評価に関して、両実験の関連性について考察を行った。その結果、両実験ともに無汗状態や発汗中の状態よりも、発汗停止後に衣服内湿度に関する機能性能の違いが現れることがわかった。



**【発汗マネキン実験】** 温度30°C、湿度60%RH環境でマネキン表面温度(33°C)、無汗安定状態→発汗状態(発汗量100g/m<sup>2</sup>h、15min)→発汗停止状態(15min)で、衣服内温湿度変化、消費電力等の計測を行った。

**【被験者実験】** 温度25°C、湿度50%RH・椅座安静(20min)→温度30°C、湿度60%RH・足温浴(30min)→温度25°C、湿度50%RH・椅座安静(10min)で、衣服内温湿度変化、心拍、血圧、血流量等の計測を行った。

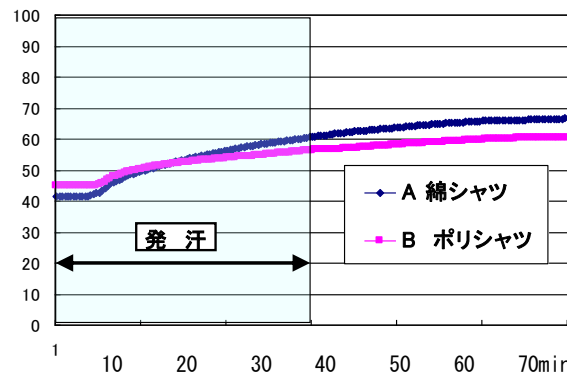


インナー、アウターの装着状態

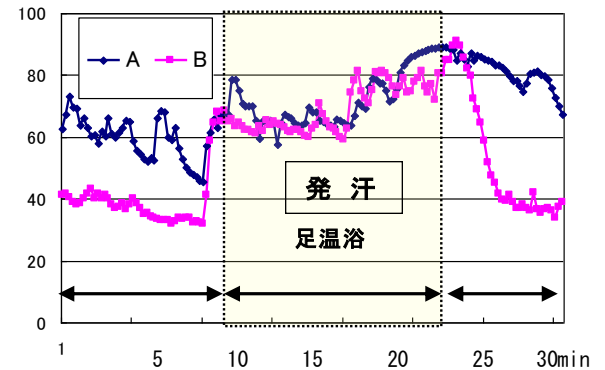


被験者実験の足温浴器(発汗を促進)

### それぞれの測定結果例



【マネキン実験】衣服内の湿度変化



【被験者実験】衣服内の湿度変化